

みんなで取り組もう 獣害対策

野生動物による被害が農作物をはじめ、人家の庭先まで及んでいます。被害を軽減させるには、野生動物の特徴を知り、同じ認識で『みんなで取り組むこと』が重要です。

稲の収穫時期を迎えるにあたり、イノシシ対策のポイントと、野生動物への正しい接し方について紹介します。

農水商工課農林係 025 1 2 3 1

対策① トタン柵

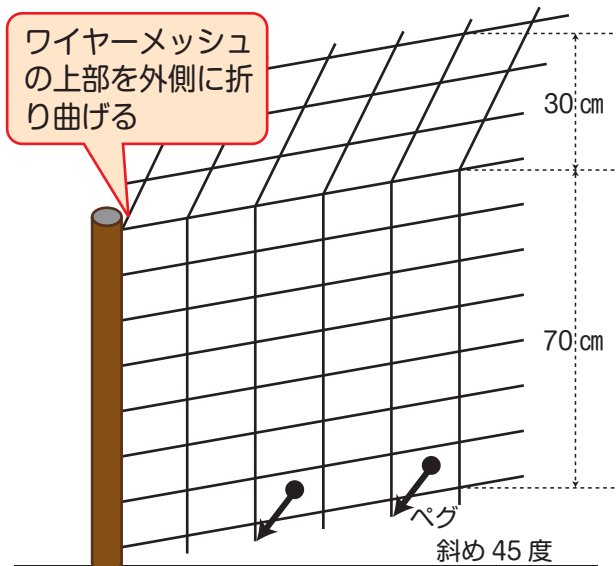
トタン柵は中の作物を見せないための目隠し効果を目的として使用します。

トタン柵設置のポイント

- ①隙間を見せない、作らない（中を見せないように）。
 - ・地際の隙間や繋ぎ目に隙間があると鼻を使い進入します。
 - ②トタンの上部を結ぶ。
 - ・持上げられないように上部の際をしっかりと押さえて結びます。
 - ③必要なら2枚重ねる。
 - ・山際などで高さを要する場合などに使用します。
- ※飛び込まれることは少ないので、隙間を作らず、くぐり抜けに十分注意すれば大きな効果が期待できます。

イノシシの習性

- ・極めて憶病で警戒心が強い。
- ・ジャンプ力は1mを超えるが、通常は地面を確認しながら行動している。
- ・追いつめられた時だけジャンプする。
- ・臭覚は優秀で鼻の力が非常に強い。
- ・体毛は太く剛毛で電気を通しにくい。

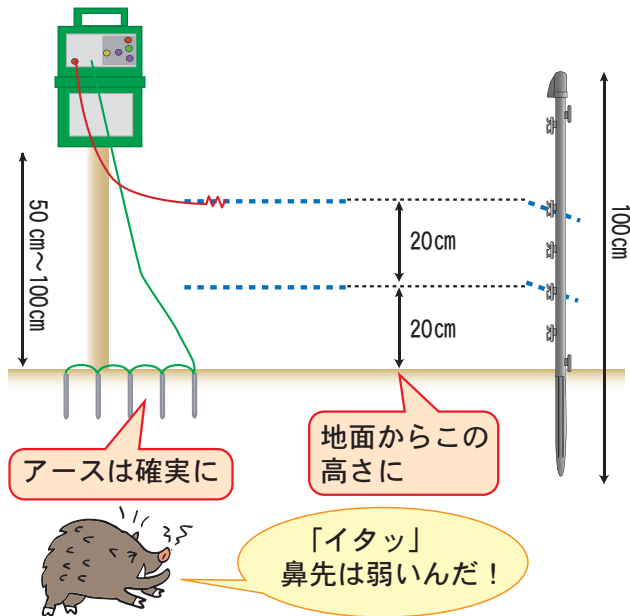


対策② ワイヤーメッシュ柵

中が見えるが風に強く景観が良い。

ワイヤーメッシュ設置のポイント

- ①上部を折り返す（忍び返し）。
 - ・30cmぐらいを20度の角度で折曲げることで、飛び込みを防げます。
- ②ペグ（止め具）は斜め45度で打つ。
 - ・飛び込めないことで注意が地面に向くので、くぐり抜け防止のために使います。
- ③網目は10cm以下の物を使用。
 - ・網目が大きいとウリ坊（子）が進入し、親も周辺に長く居ることになります。



対策③ 電気柵

感電させれば非常に効果が高いので、取扱説明書に従い使用します。草刈りが非常に重要です。

電気柵設置のポイント

- ①電線の高さは20cmと40cm。
 - ・40cmは成獣が立ったままの鼻の高さ。20cmはくぐり抜け時や、子の鼻の高さとなります。
- ②ガイシは外側に向け、アースを確実に設置。
 - ・イノシシは電線より支柱（ポール）をさわる習性があるので、向きが反対では通電せず効果がなくなります。アースも確実に設置することが重要です。
- ③支柱（ポール）は舗装道路から50cm離す。
 - ・舗装道路では通電しにくく、アースの効果が期待できません。

獣害対策に特効薬はありません。野生動物の存在を認め、根気良く被害が少なくなるように、積極的に防除を行いましょう！

野生動物等への エサやりの防止



お願い

野生動物のために

「かわいい」からと言って野生動物にエサを与えないでください。人からエサをもらってしまうと、警戒心が薄らぎ、農作物や人的被害につながります。

また、飼えなくなったからといってペットを捨てないでください。特に外来種に至っては、日本の野生動物の生態系への影響が心配されるので、絶対にしないでください。

資材費の
補助も
実施中。



野生鳥獣による被害が多発しています。被害を減らすためには、追い払い対策により、野生鳥獣に「ここは怖い場所」と教えてやるのが効果的です。

市では野生鳥獣を追い払うための威嚇用ロケット花火などの支給を行っています。希望される方は、印鑑を持参の上、農水商工課農林係に申し込んでください。

また、サル対策として電動ガンの貸し出しも同時に行っていますので活用ください。

なお、使用に関する責任は使用者本人にありますので、取り扱いには十分注意してください。

鳥獣害対策用ロケット 花火などの支給